
GlobalDoc5 1.30R00

リリースノート

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

2009年3月10日

□製品情報

=====
バージョン : Ver. 1.30R00

=== 変更内容 ===

□機能拡張

■Web アプリケーション

- ・フォルダーブックマーク、文書ブックマークの順番を入れ替えることができるようになりました。
- ・詳細検索のSQLを改善することで処理速度の改善を行いました。
- ・文書を更新したときに、履歴として更新前の情報が取得できるようになりました。ただし、本バージョンで文書を更新したときの履歴からになります。すでに存在する履歴は更新前の情報は出力されません。
- ・ごみ箱検索で検索の対象を絞り込めるようになりました。
- ・環境設定画面の各項目に必須項目“*”、複数のWebサーバーに影響する項目“+”のアイコンを付与しました。

■サーバーツール

- ・履歴出力ツールで、更新前の情報が取得できるように変更しました。ただし、本バージョンで文書を更新したときの履歴からになります。すでに存在する履歴は更新前の情報は出力されません。

□仕様変更

■Web アプリケーション

- ・ActiveXを利用する環境で、機密文書管理機能を利用している場合、添付ファイルを2重で開いたときに表示されるエラーメッセージの内容を変更しました。
- ・文書編集画面で文字型キーワード、リスト型キーワードのテキストフィールドの幅を広げました。
- ・文書編集画面でセッションが無効になった場合、エラー画面に遷移していましたが、文書編集画面を表示するように変更しました。
- ・管理者メッセージの表示画面サイズを、15行程度表示できるように変更しました。

□不具合修正

■Web アプリケーション

- ・フォルダーに登録しているリソース数が、システム環境設定画面で設定した「1フォルダーあたりのリソース数」の限界に達している場合、文書が更新できない不具合を修正しました。
- ・文字型キーワードのキーワード内容一覧を表示した場合、キーワード内容一覧のページの最後に表示される文字列に「-」が含まれていると、次ページが表示されない不具合を修正しました。
- ・文書名に「_COL_」を含む場合、詳細検索の完全一致でヒットしない不具合を修正しました。
- ・データベースのバージョンアップ時に、以下のテーブルスペースが指定できない不具合を修正しました。
 - ・基本マスター
 - ・基本インデックス
 - ・履歴マスター
 - ・履歴インデックス

- Web サーバーの起動時に Oracle との通信に失敗した場合、システム環境設定の値がデフォルトに戻る不具合を修正しました。
- システム環境設定画面に複数のユーザーが同時ログインした場合、システム環境設定が初期化される場合がある不具合を修正しました。
- コレクションに「リスト型キーワード」を設定しても、一覧に表示されない不具合を修正しました。
- 文書登録時に[文書情報]タブで保存先フォルダーを変更した場合、文書編集画面がリフレッシュされても、変更後のフォルダー階層が「保存先フォルダー階層」に表示されない不具合を修正しました。
- 共有を解除した場合、ごみ箱の文書一覧に表示される共有文書の「削除日時」が正しく表示されない不具合を修正しました。
- 使用言語を「日本語」以外に設定しても、詳細検索、シンプルタスク管理、コレクション管理画面からカレンダーを開くと、カレンダー画面が日本語で表示される不具合を修正しました。
- 添付や本文の ActiveX をインストールしていない状態で、機密文書用ユーザーキー登録を実行すると、エラーが発生する不具合を修正しました。
- 本文、添付ファイルの表示に ActiveX を利用している場合、本文のサイズが大きいと、添付ファイル一覧が表示されない場合がある不具合を修正しました。
- 添付ファイルの表示に ActiveX を利用している場合、添付ファイルを更新しフォルダーの容量を超えエラーが発生した場合、警告の「OK」ボタンをクリックするとブラウザがすべて閉じる不具合を修正しました。
- ごみ箱・ごみ箱検索で削除日時でソートした場合、文書の共有が正しくソートされない不具合を修正しました。
- 文書が削除された後に、文書・添付ファイルに URL からアクセスした場合、参照履歴が残る不具合を修正しました。
- 直接参照・更新 ActiveX を利用している場合、「1 文書 1 添付ファイルとする」設定のフォルダーの機密文書を参照した場合、参照履歴が 2 件残る不具合を修正しました。
- 文書参照画面から移動・複写を行った場合、参照履歴が残る不具合を修正しました。

- 文書管理権がないユーザーが一覧表示期間外の文書に URL からアクセスした場合、参照履歴が残る不具合を修正しました。
- ワークフロー文書の印刷画面を開いた場合、参照履歴が残る不具合を修正しました。
- ワークフロー文書の経路編集画面を開いた場合、参照履歴が残る不具合を修正しました。
- Web サーバー起動時、またはシステム管理で設定を押下時に、データベースから情報を取得できなかった場合、プロパティファイルが初期化され、環境設定の一部がデフォルト値で動作する不具合を修正しました。
- ActiveX を利用しない環境で、添付ファイル名に“.”ピリオドが 2 つ以上ある場合に、添付ファイルがダウンロードできない場合がある不具合を修正しました。
- ワークフロー文書の経路編集画面にある Doc 保存アクティビティで、「保存時の文書名付加情報」の項目名が“通し番号”になっていた不具合を、正しく“書類番号”と表記するよう修正しました。

=====

※GlobalDoc5 Ver.1.20R00 以前のバージョンをご利用の場合は、データベースのバージョンアップが必要です。
データベースのバージョンアップに関しては「GlobalDoc5 導入・設定マニュアル」の「5-4-2. データベースのバージョンアップ」を参照してください。